

杜の便り

コロナウイルスの影響で、日本をはじめ世界中の方々が様々なご苦勞をされている中、令和3年度を迎えました。桜舞い散る中、章佑会では入社式が一部リモートで行われ、やすらぎの杜にも新人職員が配属されましたことをご報告申し上げます。



さて、昨年から続くコロナ禍、世の中のスタイルや社会の構造が大きく変化しています。しかし、世の中が変わろうと、人と人との関わりは変わるものではありません。

かつてある高校の卒業式で、校長先生が卒業生に、「皆さんが社会に出て一番大切なことは、「おはようございます」「ありがとうございます」「すみません」と素直に言える人間になる事です。」と訓示されました。そんなこと当たり前、と思いがちですが、疲れているとき、思い悩んでいるときなど、なかなかはっきりと言えない言葉だな、と私自身感じ反省することがしばしばあります。

そんな中で、日々素直に明るく実践し見本をみせてくれる人たちがいます。それがやすらぎの杜のご利用者の皆さんです。どんな時でも明るくさわやかに「おはようございます。」と挨拶してくれます。間違ったことをすれば、すぐに「ごめんなさい」と言ってくれます。また、お世話になった時には「ありがとうございます」とお礼を言ってくれます。私達はご利用者に“素直になること”を日々教えていただいております。

コロナ禍は永遠に続くものではありません。必ず終わりがきます。コロナで悶々とした日々を送る毎日ですが、ご利用者の皆さんからパワーをいただき、よりよいやすらぎの杜を築いていきたいと思っております。

やすらぎの杜
施設長 馬場 八重子

【杜通信第45号発行にあたり】

コロナ禍の影響で全体行事、外部行事などが中止または延期になったため「杜の便り」は昨年4月以降の発行を見合わせていました。1年ぶりの発行となります。

先の見通しがたたない状況ではありますが、明るい話題にも目を向け、やすらぎの杜の出来事や魅力をお伝えできればと思います。

杜の便りを手に取っていただきありがとうございます。



やすらぎの杜に パン屋さんがOPENしました！

2020年6月1日 やすらぎの杜施設内に小さなパン屋さんを作りました。

やすらぎの杜では、施設玄関前で出店形式でパン販売をしていました。昨年4月から、新型コロナウイルス感染症の拡大と「緊急事態宣言」の影響でイベントへの出店をすべて中止し、施設前でのパン販売も中止せざるを得なくなりました。販売先縮小により製造量も減り、先々への不安を抱える日々が続きました。

そんななか、楽しみに待っていて下さるお客様やパン作業を頑張りたい利用者さんのために何かできないかと考え「施設内にパン屋さんをオープンさせ、皆さんに喜んでほしい」という、以前からあたたかめていた構想を進めることになり、昨年6月にオープンしました。

パン屋さんのオープンに合わせ、手芸品や陶芸品などの自主生産品の販売スペースも設けることにしました。自主生産品の販売は主にイベントのみの販売でしたが、お店に陳列することで販売の機会が増え、お客様の目にも留まりやすくなったのではないかと思います。

パンも原材料の質にもこだわり、季節限定商品や焼き菓子の新商品を続々増やしています。より一層おいしくなったパンや焼き菓子を賞味いただきたいと思います。

また今年2月よりパンの陳列棚も一新し、ディスプレイを変更しました。昨年のオープン時よりさらにパワーアップしています。お客様にお越し頂く機会も増えており、地域の方々にも好評価を頂いています。利用者さんにとっても、お店ができたことが意欲向上のきっかけになっているようで、お店がオープン出来てよかったなと感じています。これからも、みなさんに愛されるようなお店にしていきたいと思っています。

この春、パン工房の利用者さんと職員で季節の装飾を加えました。春満載の桜飾りをあしらったお店にどうぞご来店ください。

パン工房 丸山 利江



営業日：週3日（月・木・金 11:30~16:30）



作業の様子レポート



生地を伸ばす→チーズとハムを端までまんべんなくのせる♪



くるくると海苔巻きみたいに巻いて、6等分に分割♪



6等分した生地を型に入れて、焼くと…完成!

オニオンチーズプレットの作り方!



新商品（いちごのsnowボール）の袋入れ、シール貼りに挑戦!



いちごのsnowボール

新商品の紹介

チョコチップメロンパン



ホロホロした食感のいちごジャム入りクッキーです。ピンク色味は、いちごの粉末と粉砂糖をまぶしました。甘酸っぱいいちごのsnowボールをお楽しみください♪



サクサクのメロン皮に、チョコチップをトッピング。さらに食べてびっくりチョコクリーム入り♪

「POMA」で検索♪
随時更新中♪

Instagram



Minne



—コロナ禍での過ごし方について—

令和2年度はコロナ禍のなかで、手洗い、消毒などの日常の感染予防対策を重点に行なってきました。昨春はマスクや消毒液の確保が難しい時期もありましたが、東京都や練馬区また地域の方の協力もいただき、何とか乗り切ることが出来ました。

設備面での対策として国交省補助による、施設内の空調設備と外調機（外気を適温に調整して建物内に送る機械）の更新を令和2年1月までに完了しました。また東京都補助により、各居室の換気扇の更新と増設を令和2年12月までに実施しました。

日常の対策と新たな機器による換気の強化を併せて、感染症の予防に努めていきたいと思えます。マスクや消毒液の確保、工事に際し協力いただいた関係者各位ならびに利用者・職員にこの場を借りて御礼申し上げます。

生活支援長 佐藤 広純

午前、午後の接触部の消毒



1時間毎に換気の放送



来客者の検温



音楽活動



毎回マイクは消毒し、歌う方にはマスクをしてもらっています。

スヌーズレン

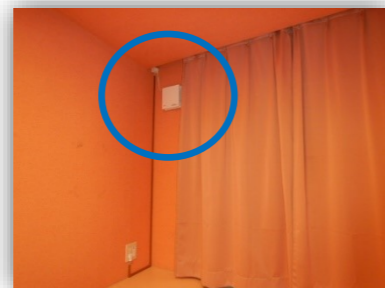


密にならないよう、何か所かに分かれて実施しています。

作業室にアクリル板の設置



居室に新しい換気扇を導入しました！



社会福祉法人 章佑会
障害者支援施設
やすらぎの杜
〒177-0051
東京都練馬区関町北-7-10
電話 03 (3928) 3315
FAX 03 (3928) 3310
Email: yasuragi.mori@gol.com

